

事務事業マネジメントシート(平成30年度実績と平成31年度計画)

令和元年 5月14日更新

事務事業名		学校支援者傷害保険加入事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	教育の健康			所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	右田 純司
	施策	9	義務教育の充実			所属課	学校教育課	担当者名	橋口 真美
	施策の柱	31	学力の向上			所属班	学務指導班	(内線)	5326
予算科目		会計一般	款 10	項 1	目 3	事業連番	10615	根拠法令	
終了、開始年度		<input checked="" type="checkbox"/> 30年度で終了 <input type="checkbox"/> 30年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	総合的な学習に招く外部講師や、学校運営に関して支援・助言する学校評議員等現在、学校教育において地域の様々な人達が教育を支援するようになっており、学校長が安心して学校の支援を地域の方にお願いできるようにするため事業を開始した。 学校外部の人が、学校教育支援中の不慮の事故等に備え傷害保険に加入し、学校支援事業の円滑な実施を図る。 対象者・・・学校評議員、総合的学習の時間に招く講師、部活動支援者他。 保険金の種類・・・死亡保険金、後遺障害保険金、入院保険金、手術保険金、通院保険金、賠償責任保険
【業務の流れ】	傷害保険加入事務、保険料支払い手続き事務
【主な予算費目】	役員費
【意見や要望】	校長からは、安心して支援を依頼できるという意見があっている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 30年度実績(30年度に行った主な活動) (DO)	31年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)	
学校教育支援中の不慮の事故等に備え傷害保険に加入し、学校支援事業の円滑な実施を図った。	計画なし	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
ア:学校支援者補償に加入している学校数	校	学校教育支援中の不慮の事故等については、全国町村会総合賠償保険で対応できるため、保険加入の見直しを行ったことによる減
イ:		
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
小中学校支援者	ア:学校支援者数	人
イ:		
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
支援中の不慮の事故に備え、傷害保険に加入することにより、学校支援事業の円滑な推進を図る。	ア:学校支援事業が支障なく行われた割合	%
イ:		
*③成果指標設定の理由と31年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
学校支援事業の円滑な実施を図るため。		全体計画
		～ 年度
		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	28年度実績(決算)	29年度実績(決算)	30年度目標(当初予算)	30年度実績(決算)	30年度目標(当初予算)	予定	見込	見込
①活動指標	ア	校	10	10	10	10				
	イ									
②対象指標	ア	人	60	60	60	0				
	イ									
③成果指標	ア	%	100	100	100	100				
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	人件費	一般財源	千円	270	270	270	270			
		(A)事業費計	千円	270	270	270	270			
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0			
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0			
		正規職員従事人数	人	1	1	2	3			
延べ業務時間	時間	5	5	20	14					
(B)人件費計	千円	0	19	79	55					
トータルコスト(A)+(B)	千円	270	289	349	325					

事務事業名	学校支援者傷害保険加入事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	学校教育課
-------	---------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は30年度の事後評価、ただし複数年度事業は30年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①30年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②31年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 学校教育支援中の不慮の事故等に備え傷害保険に加入することで、学校支援事業の円滑な実施を図ることができると思われる。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 支援中の不慮の事故等に備えるものであり、すでにすべての小中学校を保険の対象としているため、成果の向上の余地はないが、現状を維持していくためには事業の継続が必要である。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 総務課が加入している町村会保険で代用できる
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 目的に合致する保険はこの保険だけであり、金額も定額のため削減の余地はない。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最低限の事務量であり削減の余地はない。 委託するような事務量ではない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 この事業により特定の個人、団体等に利益が生じることはない。 また、学校への協力者 (地域ボランティア等) を対象としているため、地域連携を向上させるためにも掛金の自己負担等を行うのは適当ではない。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 行政への協力者に対する保険の加入であるため、市が加入手続き等を行うことが適当である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

学校教育支援中の不慮の事故等に備え傷害保険に加入し、学校支援事業の円滑な実施を図ることができた。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない) 総務課加入の町村会保険でカバーできることが判明したため事業終了	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																					